

川苔谷の溪谷美と展望も期待できるかも 川苔山

実施日 2012年11月18日(日)

天候 晴れ

リーダー 鈴木 恵美子

S L 渋谷 京子

参加者 涌井良明、大村巖、島本陳重、鈴木政三、石附智江、渋谷賢寿、渋谷京子、伊藤久雄、中村友子、石原勝正、小名秀鋭、石附智子、佐藤政司、鈴木恵美子 計14名

費用 電車 1,160円(立川起算) バス(奥多摩⇒川乗橋)250円 計1,410円

タイム 奥多摩駅(8:35バス停)BS 川乗橋(8:48・8:57)細倉橋(9:37・9:45)百尋ノ滝(10:35・10:45)足毛岩分岐(11:35)休憩(11:50・12:10)川苔山(12:50・13:10)舟井戸(13:30)大根の山の神(15:00・15:10)鳩ノ巣駅(15:45)



まず、川乗橋バス停で降りると登山者がいっぱい。紅葉の真っ盛りで天気もい

いからだろう。

なだらかな登りの車道歩き40分で細倉橋の登山口に着く。



新しいエコトイレが一つだけある。

身支度を整え、いざ出発！百尋ノ滝まですずっと沢沿いの道を、沢を何度も渡り返して登る。昨夜の雨で石や木の橋や板が濡れて滑りやすい。ちょっと終り



に上げて行く。

百尋ノ滝に下りる階段と途中の踊り場のような場所は混んでいてすれ違うのが大変だ。やはり、上から見るのと下から見上げるのではスケールが全然違う。



それぞれ写真を撮ったり、たっぷりのマイナスイオンを浴びて癒される。

その後、45分ほどの急登の後、いきなり下りの道になる。今回は下見をしていなかったため、下ってしまっていたのかちょっと不安になるが、この奥多摩の山々を徘徊している K 氏に尋ねると大丈夫とのこと。



少し下り、沢を渡り、右の方へ登る道に行く。確かに地図を見れば沢を渡っている。足毛岩を少し過ぎた登山道の小広い場所で、空っぽになりかけの胃にガソリンを入れる。

そこから40分程で川苔山の山頂に着く。広々とした山頂には登山客がいっぱいだ。宴会をやっているグループや美味しそうな匂いをプンプンさせて料理をしているグループもいる。



こんなに山頂に人が多いのは今年初めてとW氏。

山頂の紅葉がほとんど終わっていたのは残念だが、昨日の雨で空気が洗われ、遠くの山々の稜線がくっきり。富士山もその真っ白い美しい姿を見せてくれた。



暫し景色を楽しんだ後、鳩ノ巣駅を目指して下山開始。最初少しだけ急坂だが、危ないところはほとんどない。そのせいかどうか、楽しそうなおしゃべり、高らかな笑い声に後押しされて快調(?)に下る。

舟井戸を過ぎて少し下った辺り



の分岐で、「大ダワ～本仁田山への道は崩落のため通行禁止」と書かれていた標識に気づかず、そちら(右)の方へ行きかけてしまい、先輩リーダーに教えられ、正しい道に戻る。下りの傾斜は緩やかで歩きやすい。延々と杉の樹林帯が続くが、ところどころ、広葉樹の黄

色い葉や左側の山々の紅葉が気分転換させてくれる。

赤ちゃんのような小さな木も一丁前



に黄色く色づき、こんな小さな木も黄葉するのだと、一人秘かに感

心する。当り前か(?)

やっと大根の山の神に着き、ホッ！美しいモミジと競い合って写



真を撮る陽気な仲良し母娘あり。間もなく車道に出、鳩ノ巣駅に到着。

未熟なリーダーである私は、途中2度3度(?)間違った道を進みかけたが、



先輩リーダーの方々と奥多摩徘徊歴(?)年のK氏のサポートのおかげで何とか無事に下山でき感謝感

謝です。

また、参加された皆さん、お疲れ様、ありがとうございました。そんなわけで、今日は反省すべきことが多々あったので、立川でたっぷり反省いたしました。また、一緒に山歩きを楽しんでいただければ幸いです。

(記・鈴木 恵美子)

(写真提供・涌井良明/伊藤久雄)

